

編者のことば

日常診療で感じるのは、タバコ疾患の患者の多さ、悲惨さである。病気になり、命が削られても、なぜか患者も社会も離れられない。

病んだ社会と医療経済を立て直すカギは、『医療』『学校教育』そして、『政策医療』即ち『政治』であろう。

社会は、地球の『エコ』に最近気づいた。しかし、『命のエコ』が『禁煙』であることにはまだ気づいていない。日本の4大死因全てが、『タバコの煙』の影響を受けている。

『命のエコ』即ち、『タバコの煙の無い環境づくり』の意義を新しい熊本から届けたい。

平成 22 年 5 月

敷地内禁煙と禁煙外来実践の要点 2010

— 受動喫煙のない環境のために —

編者代表 熊本機能病院 循環器内科 水野雄二